

平成24年度 宇都宮市立白沢小学校 学校評価書

※ 網掛けのない部分が計画、網掛けの部分が評価結果を受けて記入する。

1 教育目標（目指す児童生徒像含む）

広い視野を持ち、心身ともに健康で、創造性と実践力に富む心豊かな児童の育成を目指す。

【時代を拓く日本人を育てる】 ○ よく学び考える子 ○ 思いやりのある子 ○ たくましい子

2 学校経営の理念（目指す学校像含む）

創立139年の歴史や伝統・業績の上に立ち、白沢小学校で学ぶ児童に、今できる最高の教育を行い、教育目標の達成を目指す。そのためには、全ての教職員の英知を結集し、綿密な計画のもと、児童・保護者・地域の方々と携えながら、創意と工夫・活力に満ちた充実した教育活動を展開していく。また、全ての教職員は、専門職としての資質向上に努め、子どもへの愛情、同僚との3育（共育・協育・響育）精神をもって教育活動に取り組む。

3 学校経営の方針（中期的視点）

（1）楽しく居がいのある学校づくり

○（2）生きる力を育む教育実践

○（3）社会性の育成

○（4）開かれた学校づくり

（5）自己研鑽及び経営組織の活性化

4 今年度の重点目標（短期的視点）

（1）学 校 運 営

・児童、教職員の資質・能力の向上を図る教育環境の充実と開かれた学校づくりの推進

（2）学 習 指 導

・自分の考えをもち、進んで学び合い、表現する力の育成

（3）道徳教育（児童生徒指導）

・相手の気持ちを考え、正しく判断し行動できる児童の育成

（4）健康（保健安全・食育）・体力

・健康・体力の向上を目指し、元気で安全に生活しようとする児童の育成

5 自己評価（Aは共通評価指標、Bは学校独自評価指標）

（「主な具体的な取組の方向性」には、A 拡充 B 継続 C 縮小・廃止、を自己評価時に記入）

項目	評価指標	主な具体的な取組	方向性	評価
学校運営の状況	A1 学校は、活気があり、明るくいきいきとした雰囲気である。〔全〕 【数値指標】 全体アンケートの「自分は今の学校が好きである」⇒児童の肯定的回答 90%以上	① 各行事や児童会活動を工夫し、児童が主体的に活動する場を設定する。	B	【達成状況】 - 児童の肯定的回答は 94.2%であり、指標を上回った。 - 学校全体が明るい雰囲気であり、児童は学校生活を楽しく過ごしている。 - 教師といろいろな話をする時間を設け、児童が安心して学校へ来ることができる雰囲気作りに努めた。 - 児童には多くの活躍の場があり、主体的に生き生きと活動する姿が見られた。 【次年度の方針】 - 昨年度の反省を踏まえ、児童が主体的に活動する行事や場を引き続き設定していく。 - スクールカウンセラーの活用や教育相談を意図的・計画的に設定し、より一層、児童の居心地のよい居場所づくりや心の安定を図っていく。

学 校 運 営 の 状 況	A2 教職員は、組織の一員として熱心に教育に当たっている。〔全〕 【数値指標】 全体アンケートの「先生方は、大切なことを熱心に指導してくれる」⇒児童の肯定的回答 90%以上	① 授業のねらいを明確にして、児童が意欲をもって学習に取り組むよう指導法を工夫する。	B 【達成状況】 - 児童の肯定的回答は 99.2%であり、指標を大きく上回った。 - 今年度「学校一日公開」や「授業参観」の機会を、昨年度の4回から5回に増やし、保護者地域住民に学校の現状を見てもらう機会とした。 【次年度の方針】 - 引き続き学校公開日や授業参観日を計画的に設定し、広く保護者・地域住民に現状を見ていただく。
	A3 児童は、授業と生活のきまりやマナーを守り、秩序があり安全な学校生活をしている。〔全〕 【数値指標】 全体アンケートの「児童は、授業と生活のきまりやマナーを守って生活している」⇒児童の肯定的回答 90%以上	① 毎月、学校全体の生活目標から、学級ごとに生活目標を設定し、児童に具体的な生活目標をもたせることにより、基本的な生活習慣の徹底を図る。	A 【達成状況】 - 児童の肯定的回答は 88.5%であり、指標をやや下回った。 【次年度の方針】 - 生活のきまりやマナーを振り返るとともに、改善していく。 - 集会活動時や昼の放送等を利用して、今月の生活目標に対する意識高揚を図る。 - 家庭と連携を図り、授業参観や懇談の機会を利用し双方向での情報交換をする。
	A4 教職員は、分かる授業や児童にきめ細やかな指導を行い、学力向上を図っている。〔全〕 【数値指標】 全体アンケートの「先生方の授業は、分かりやすく、一人一人に丁寧に教えてくれる」⇒児童の肯定的回答 90%以上	① ティーム・ティーチングや習熟度別学習を工夫して、児童一人一人に応じたきめ細かな指導をする。	B 【達成状況】 - 児童の肯定的回答は 94.6%であり、指標を上回った。 - 習熟度別学習や少人数指導等、個に応じた指導が定着した。 【次年度の方針】 - 目あてや学習の手順の明示、学びを深める学習形態の研修、算数科でのコース別学習の充実等一人一人を大切にした授業づくりを実践していく。
	A5 日課、授業、学校行事などの教育課程は、適切に実施されている。〔全〕 【数値指標】 全体アンケートの「私の学校生活や様々な活動は充実している」⇒児童肯定的回答 90%以上	① 日課や行事等を工夫し、適切に実施し評価する。	B 【達成状況】 - 児童の肯定的回答は 94.2%であり、指標を上回った。 【次年度の方針】 - 小中一貫教育（学校園）完全実施に伴い、引き続き地域との交流を大切にした特色ある学校行事を実施していく。
	A6 学校の公開や情報の積極的な発信・提供が行われ、開かれた学校づくりが進められている。〔全〕 【数値指標】 全体アンケートの「学校は、学校便りや学校公開などで、積極的に情報を発信・提供している」⇒保護者の肯定的回答 80%以上	① 学校だより・学年だより・としょだより・ほけんだより・食育だより等を毎月発行し、保護者や地域住民（自治会・老人会・民生児童委員等）に情報を提供する。	B 【達成状況】 - 保護者の肯定的回答は、96.2%であり、指標を大きく上回った。 【次年度の方針】 - 継続する。

教育活動の状況	A7 学校と家庭・地域・企業等との連携・協力を図った地域の学校づくりが推進されている。〔全〕 【数値指標】 全体アンケートの「学校は、家庭、地域、企業等と連携・協力して、教育活動や学校運営の充実を図っている」⇒地域住民の肯定的回答 80%以上	① 「白沢小学校地域協議会」では、「学校教育支援部会」「学校安全対策部会」「地域事業推進・交流部会」の3つの部会を設け、学校・家庭・地域・企業等が連携・協力して宮っ子ステーション事業をはじめ「地域の学校づくり」を推進する。	B	【達成状況】 ・ 地域住民、教職員ともに肯定的回答は100%であり、指標を大きく上回った。 ・ P T Aや地域協議会をとおして、地域住民と連携協力した教育活動が展開できた。 【次年度の方針】 ・ さらに学校からの要請や発信を積極的にしていく。
	A8 校内は、学習にふさわしい環境となっている。〔全〕 【数値指標】 全体アンケートの「学校は、清掃が行き届き、学習しやすく潤いのある環境である」⇒保護者の肯定的回答 90%以上	① 校舎内外の環境整備や教材・教具等の充実を図る。	B	【達成状況】 ・ 保護者の肯定的回答は 96.3%であり、指標を大きく上回った。 ・ 安全点検の様式を変更し、徹底した環境点検・整備を実施した。 【次年度の方針】 ・ 教職員の共通理解を図って、さらに地域施設の教材化や地域人材の活用を図る。
	A9 児童は進んであいさつをしている。〔全〕 【数値指標】 全体アンケートの「児童はあいさつをしている」⇒児童の肯定的回答 90%以上	① あいさつ運動のスローガンを決定し、児童代表委員を中心に学校園全体で、あいさつ運動を実施する。	B	【達成状況】 ・ 児童の肯定的回答は 90.8%であり、一応達成したものの、保護者は 66.8%、地域・教職員は 80%台にとどまっている。 【次年度の方針】 ・ あいさつ運動を継続する。 ・ 引き続き、相手に伝わらなければあいさつの意味がないことを指導していく。 ・ 家庭と連携して、指導の徹底を図る。
	B1 地域との連携を大切に、地域から学ぶ姿勢を一人一人の教職員が身に付ける。 【数値指標】 学校独自のアンケートの「学校は、地域素材や人材を活用した学習を積極的に行っている」⇒地域住民の肯定的回答 90%以上	① 地域探検や食農体験学習等、地域素材や人材・施設を活用した学習を実施する。	B	【達成状況】 ・ 地域住民の肯定的回答は 100%であり、指標を大きく、達成した。 【次年度の方針】 ・ 引き続き地域コーディネーターを活用し、地域人材・地域施設の活用を図る。 ・ 総合的な学習の時間「くすのきプラン」における地域素材や人材を生かす単元開発・活用を図る。
	A10 児童は、正しい言葉づかいをしている。〔全〕 【数値指標】 全体アンケートの「児童は、と場に応じたあいさつをしている」⇒児童の肯定的回答 90%以上	① さんづけで呼び合う指導を強化する。	A	【達成状況】 ・ 児童の肯定的回答は 82.3%であり、指標を下回った。 【次年度の方針】 ・ 「さん」付けで名前を呼んだり、話したりすることを会話科に取り入れる。 ・ 言葉遣いについて、引き続き学校からの情報を発信し、家庭との連携を図る。

教育活動の状況		B2 相手の気持ちを考え、正しく判断し行動している。 【数値指標】 学校独自のアンケートの「学校は、担任・教職員・スクールカウンセラーによる教育相談を計画的に行っている」⇒児童の肯定的回答 90%以上	① 担任による「お話ししよう週間」(年2回)やスクールカウンセラーによる教育相談、教職員による事例研究会等を計画的に実施する。	B	【達成状況】 ・ 児童の肯定的回答は 94.6%であり、指標を上回った。 【次年度の方針】 ・ 引き続き「お話ししよう週間」を継続し、児童指導情報交換会や事例研究会の充実を図り、児童理解に努める。 ・ スクールカウンセラー等の一層の活用を図り、保護者啓発に努める。
	健康・体力	A11 児童は、進んで運動する習慣を身につけている。〔全〕 【数値指標】 全体アンケートの「児童は、休み時間や放課後などに進んで運動している」⇒児童の肯定的回答 80%以上	① 「がんばりカード」を活用し、児童が達成感を味わえるような体育授業の工夫や外遊びの奨励を図る。	B	【達成状況】 ・ 児童の肯定的回答は 90.4%であり、指標を上回った。 ・ 体育的行事や教科体育において、目当てに向かって取り組むことができるよう各種カードを活用した。 ・ 児童の意欲を高めるため、地域施設を積極的に利用した。 【次年度の方針】 ・ 引き続き、元気っ子健康体力チェックの分析をもとに体育的活動の充実を図る。
		A12 児童は栄養のバランスを考えて食事をしている。〔全〕 【数値指標】 全体アンケートの「児童は、好き嫌がなく給食を食べている」⇒児童の肯定的回答 90%以上	① 養護教諭・栄養士による指導の工夫を図る。	A	【達成状況】 ・ 児童の肯定的回答は 83.9%であり、昨年よりは上がっているが、指標を下回った。 ・ 行事給食や親子給食において、栄養士による栄養指導を実施した。 【次年度の方針】 ・ 偏食や日常の食習慣の見直しを図るため引き続き保護者への啓発活動を行う。 ・ 家庭と連携して、バランスよく食べられるように指導する。 ・ 「お弁当の日」「おにぎりの日」等開催日を学校園で実施し、小中連携を図る。
		B3 健康・体力の向上を目指し、元気で安全に生活しようとしている。 【数値指標】 学校独自のアンケートの「学校は、気力と体力の充実を目指した運動の機会を計画的に行っている。」⇒児童の肯定的回答 90%以上	① 外遊びの奨励のほか、徒歩による登下校・安全マップ作成など、地域と連携した安全教育の充実を図る。	B	【達成状況】 ・ 児童の肯定的回答は 90.0%であり、達成した。 ・ 徒歩による登下校の推奨や安全教育の充実を目指す活動を実施した。 【次年度の方針】 ・ 引き続き、保護者・地域との連携を図り、安全教育の充実を図る。
	学習	A13 児童は、進んで学習に取り組んでいる。〔全〕 【数値指標】 全体アンケートの「児童は、授業中に進んで話し合うなど、積極的に学習している」⇒児童の肯定的回答 80%以上	① 朝の学習「プロジェクトS」の内容見直しを図り、一層計画的に実施する。	B	【達成状況】 ・ 児童の肯定的回答は 90.8%であり、指標を上回った。 【次年度の方針】 ・ 朝の学習「プロジェクトS」の時間を、国語算数の反復学習の時間とし、引き続き基礎力の定着を図る。

	A14 児童は、落ち着いて学習に取り組んでいる。 〔全〕 【数値指標】 全体アンケートの「授業中に先生や友達の話聞くなど、落ち着いて学習している。」⇒児童の肯定的回答 90%以上	① 学習ルールの徹底を図るとともに、児童相互の学び合い活動の充実を図る。	B 【達成状況】 - 児童の肯定的回答は 94.2%であり、指標を上回った。 【次年度の方針】 - 学習のルールの見直しと全教職員による共通理解、共通実践を図る。 「学習の約束」に基づき、よりよい学習環境づくりに努める。
本校の特色・課題等	B4 地域学校園を基盤とした交流・教育活動を実施する。 【数値指標】 学校独自のアンケートの「学校は、地域学校園をはじめ、幼・保・小・中・特別支援学校との交流を大切に活動をおこなっている」 ⇒教職員の肯定的回答 90%以上	① 小中一貫教育部会の計画的開催や交流行事・学習活動を計画的に実施する。	B 【達成状況】 - 教職員の肯定的回答は 100%であり、指標を大きく上回った。 - 宮っ子ステーション事業が開始され、地域の方との活動が活発化した。 【次年度の方針】 - 全学年が地域や近隣の幼保小中高等学校との交流を目指し、計画的に交流活動を展開する。 - さらに情報発信を増やし、保護者理解に努める。

〔総合的な評価〕

<成果>

- ・ 学校園でのあいさつ運動を年3回設け、学年・児童会・教職員が一丸となってあいさつ運動を実施した。
- ・ 学校支援ボランティアをはじめ、地域から学び、地域との連携を大切に活動を展開した。
- ・ 授業力向上プロジェクト（3年次）を受け、授業の工夫改善を目指し、授業力向上に努めた。
- ・ 学校課題を明確にし、全員一授業公開・研究授業を実践して、校内研修の活性化を図った。
- ・ 頑張る学校プロジェクト（市の補助金）を活用し、地域人材・地域施設の教材化を図ったり有効活用したりできた。
- ・ 白沢小地域協議会では、地域カレンダー作成やマーク・マスコットキャラクターの募集等、一層の家庭・地域教育力向上と活動充実を図った。
- ・ 白沢小地域協議会での「学校支援本部事業」を通し、学校・家庭・地域・企業との連携・協力を図った地域の学校づくりが推進された。
- ・ 授業参観や学校公開、各種便りやホームページ、情報提供メール等、情報の発信・提供を積極的に行い、開かれた学校づくり推進に努めた。

<課題>

- ・ 生活のきまりやマナーを守り、秩序ある安全な学校生活ができるよう、月目標を設定し、目標への意識高揚を図る。
- ・ 時と場に応じた正しい言葉づかいができるよう、「さん」づけ呼称の徹底を図り、家庭との一層の連携を図る。
- ・ 望ましい食習慣の徹底を図るため、栄養指導や学校園での「おにぎりの日」等の設定・指導を工夫し、家庭との一層の連携を深めた指導を展開する。

6 学校関係者評価

- ・ 白沢小HPに「白沢写真館」が新設され、毎回更新している。写真による学校での様子がよく分かり、大変良い。
- ・ 朝のあいさつは帰りのあいさつより声が小さいが、できるようになってきたと実感している。
- ・ ワンワンパトロールの方にも、児童は良くあいさつしている。
- ・ 登校班で登校する際、離れてしまう班がある。単独登校は心配だ。
- ・ 児童の肯定的回答割合の低い項目は、生活の場面が多い。家庭でなければいけない点だと思う。

7 まとめと次年度へ向けて（学校関係者評価を受けて）

○確かな学力の育成について

- ・聞き方・話し方の基本習得を目指し、学び合い学習の指導工夫改善を図る。
- ・朝の学習「プロジェクトS」では、国語算数の基礎基本定着を図るため、実施方法・内容の見直しを図る。
- ・継続して、家庭と連携・協力しながら家庭学習の習慣化を図る。

○豊かな心の育成について

- ・学校園でのあいさつ運動を継続し、元気な朝のあいさつ徹底を図る。
- ・家庭・地域と連携を図り、時と場に応じた言葉遣いを指導していく。
- ・継続して、さんづけで呼び合う習慣化を図る。

○たくましい体の育成について

- ・家庭と連携協力して、望ましい食習慣の徹底を図る。
- ・元気っ子健康体力チェックの分析をもとに、健康増進と体力向上を図る。
- ・登校班での登下校指導を徹底するとともに、安全についての意識高揚を図るため、家庭地域との協力体制を拡充する。

○その他

- ・引き続き学校公開や授業参観を計画的に設定し、広く保護者住民に現状を見ていただく機会とする。
- ・ホームページを計画的に更新する等、「開かれた学校づくり」の推進を図る。
- ・引き続き、地域協議会の学校支援事業充実を目指し、地域・家庭教育力向上を図る。